

図書だより

第3号 2024年9月
宮城県利府高等学校図書館発行



実りの秋・読書の秋

文部科学省の国語に関する世論調査（2023年度）によると、1ヶ月に1冊も読書しない人の割合が6割を超え、過去最高となり、読書量が減少しているということがニュースになりました。情報をスマホなど情報通信機器から得るようになり、読書量が減少しているそうです。この秋は、ぜひスマホから手を離して、本を手にしちゃいましょう。きっと読書はあなたの心を楽しませてくれるはずですよ。

君に届けたい！ 本のリクエストフォームができました

探している資料が図書館に所蔵されていない場合、リクエストを受付けるか、他の図書館から借りて対応します。QRコードを読み込んで必須項目を入力してください。リクエスト待っています！

QRコード
SAMPLE

図書委員がオススメする本

紹介した本は図書館の入口左手に展示しています！

「Let's Do アンミカ！ アンミカのポジティブ相談室」 アンミカ 著 講談社（刊）

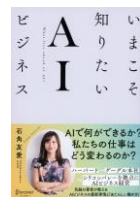
この本は書名から読み取れる通り、「白って200色あんなねん。」で有名なあの、アンミカさんが書いた本です。本の内容は、様々な悩みを抱えている人々へポジティブに物事を解決してくれることが書かれています。この本を見つけ、私は今までにない衝撃を受けました。中でも人との違いを尊重することを大切にしているからこそそのポジティブさがありました。誰も傷つけず、あなたのことをきっと明るくしてくれるでしょう。仕事、勉強、人間関係はもちろん、恋のお話まで！悩んでいるのは一生懸命生きている証。今の自分のコミュニティでは聞けないような悩みを聞くことも人生を豊かにする方法の一つだと思います。皆さんもぜひこの本を手にとってみてください。

【3年3組 図書委員】



「いまこそ知りたい AI ビジネス」 石角友愛 著 ディスカバリー ディスカヴァー・トゥエンティワン（刊）

この本は、AIについて様々なことが書かれています。一般人から見たAIと技術者から見たAIでどう認識が違おうか、AIを活用したビジネスの成功例と失敗例、AIビジネスで起きていること、AIを導入する際にどんなステップを踏めばよいか、AIビジネスの課題などが書かれています。一見、難しそうに聞こえますが、そんなことはありません。実際に日本で、世界で起こっているAIに関する事例を踏まえて書かれているので筆者が何を伝えたいのかをしっかりと理解することができます。さらに、筆者はAIビジネスデザイナーをやっているAIについての知識がしっかりあります。それゆえ、専門家と一般人を比べることが出来ているので違いがわかりやすいです。これを読めばAIの見方が変わると思います、少しでもAIが気になっているならぜひ読んでほしい一冊です。 【3年5組 図書委員】





書名	著者名	出版社	請求記号
000 総記			
文系と理系はなぜ分かれたのか (星海社新書)	藤崎さや香 // 著	星海社	002 オ
教養の書	戸田山和久 // 著	筑摩書房	002 ト
働きたくないイタチと言葉がわかるロボット	川添愛 // 著	朝日出版	007.1 カ
生成AIで世界はこう変わる (SB新書)	今井翔太 // 著	SBクリエイティブ	007.3 イ
100 哲学			
本質を見抜く「考え方」 (サンマーク文庫)	中西輝政 // 著	サンマーク出版	141 ナ
臨床とことば (朝日文庫)	河合隼雄 齋田清一 // 著	朝日新聞出版	146 カ
生きのびるための事務	坂口恭平 道草晴子 // 著	マガジンハウス	159 サ
200 歴史			
天災から日本史を読みなおす 先人に学ぶ防災 (中公新書)	磯田道史 // 著	中央公論新社	210 イ
一冊でわかる エジプト史 世界と日本がわかる国ぐにの歴史	山崎世理愛 五十嵐大介 // 著	河出書房新社	242 ヤ
300 社会科学			
フランス うるわしの国の栄光と苦悩 池上彰の世界の見方	池上彰 // 著	小学館	302 イ
持続可能な地域をつくる方 未来を育む「人と経済の生態系」デザイン	寛裕介 // 著	英治出版	318 カ
SDGsの実践 持続可能な地域社会の実現に向けて	事業構想研究所 白田範史 // 編	事業構想大学院出版部	318 ハ
13歳から考える戦争入門 なぜ、戦争はなくなるならないのか?	長谷川敦 // 著	旬報社	319 ハ
世界インフレ日本はこうなる (SB新書)	池上彰 ほか // 著	SBクリエイティブ	322 イ
ルールはそもそもなんのためにあるのか (ちくまプリマー新書)	住吉雅美 // 著	筑摩書房	321 ス
法学を学ぶのはなぜ? 気づいたら法学部、にならないための法学入門	森田果 // 著	有斐閣	321 モ
天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い	中村哲 // 著	NHK出版	333 ナ
SDGs入門 (日経文庫)	村上芽 渡辺珠子 // 著	日経BP	335.1 ハ
事実はなぜ人の意見を変えられないのか 説得力と影響力の科学	ターリ・シャロット // 著 上原直子 // 訳	白揚社	361.4 ヨ
フロンティアのこころの声を聞く技術聞いてもらう技術 (SB新書)	諸富祥彦 // 著	SBクリエイティブ	361.4 モ
ぼくが生きて、ふたつの世界 (幻冬舎文庫)	五十嵐大介 // 著	幻冬舎	369.2 イ
こども六法 NEXT おとなを動かす悩み相談クエスト	山崎総一郎 // 監修	小学館	371.4 ヤ
400 自然科学			
「研究室」に行ってみた。(ちくまプリマー新書)	川端裕介 // 著	筑摩書房	402 カ
食べて楽しむ科学実験図鑑	尾崎好美 // 著	SBクリエイティブ	407 オ
図解はじめて学ぶ数学のせかい	浜崎絵梨 // 訳 植野義明 // 監修	畠文社	410 ハ
スマホを捨てたい子どもたち 野生に学ぶ「未知の時代」の生き方 (ポプラ新書)	山極寿一 // 著	ポプラ社	489.9 ヤ
ほんとうはびっくりな植物図鑑 ありふれた草花の秘密がおもしろい!	石井英男 // 著 下間文恵 // イラスト 稲垣栄洋 // 監修	SBクリエイティブ	470 イ
エナガの重さはワゴン車 身近な鳥の魅力発見事典	くますけ // 絵・文 上田恵介 // 監修	山と溪谷社	488 ク
眠っている間に体の中で何が起きているのか	西多昌規 // 著	早稲田	491.3 ニ
超訳養生訓 病気になるない体をつくる	伊原益軒 // 著 奥田昌子 // 編訳	ディスカバー・トゥエンティワ	498.3 イ
身近な薬用植物ものしり帖	貝塚優 // 著	ベレ出版	499 イ
500 技術			
エネルギーをめぐる旅 文明の歴史と私たちの未来	古舘恒介 // 著	英治出版	501 フ
日本の城年表 古代から現代まで城の変遷が劇的にわかる	西ヶ谷恭弘 // 著	朝日新聞出版	521.8 ニ
「原子力」のことが一冊でまるごとわかる	齋藤勝彦 // 著	ベレ出版	539 サ
体いいおやつ 小麦粉・砂糖なし。思い立ったらすぐできる!	薮枝ちやん // 著	Gakken	596.6 ネ
600 産業			
フードバンクという挑戦 貧困と飽食のあいだで (岩波現代文庫)	大原悦子 // 著	岩波書店	611 オ
食料危機の未来年表 そして日本人が飢える日 (朝日新書)	高橋五郎 // 著	朝日新聞出版	611 タ
マーケティングを学ぶ (ちくま新書)	石井淳哉 // 著	筑摩書房	675 イ
700 芸術			
常識やぶりの天才たちが作った美術道	ハビヨン本田 // 著	KADOKAWA	702 ハ
Dr.STONE 27	稲垣理一郎 // 著	集英社	726.1 イ 27
大和和紀『あさきゆめみし』と源氏物語の世界	三村村雅子 // 監修	平凡社	726.1 ミ
言語学的ラップの世界	川島繁人 feat.Mummy-D・菅平太・TKda黒ひんち・しあ // 著	東京書籍	764.7 カ
中学生の陸上競技 マンガ×動画×写真で3倍よくわかる!	花谷昂 // 著・漫画監修 森本一樹 // 原作・作画	ベースボール・マガジン社	782 ハ
豊高式マッチアップソーン 高校バスケットボール『考える』戦い方シリーズ	枝折康孝 // 著	ベースボール・マガジン社	783.1 ヨ
監督が怒ってはいけぬ大会 (益子園美 北川美穂子 北川新二) // 著	益子園美 北川美穂子 北川新二 // 著	方丈社	783.2 カ
食べた強くなる! サッカーの栄養と食事	久保田尚子 // 著	ベースボールマガジン社	783.4 ク
3年間ホケッだった僕がドイツでサッカー指導者になった話	中村吉之伴 // 著	理論社	783.4 ナ
サッカー 前橋育英高校式メニュー	山田耕介 // 著	ベースボール・マガジン社	783.4 ヤ
テニス丸ごと一冊戦略と戦術 4	堀内昌一 // 著	ベースボール・マガジン社	783.5 ホ
今永昇太のピッチングバイブル	今永昇太 // 著	ベースボール・マガジン社	783.7 イ
卓球 野田学園高校式メニュー	橋津文彦 // 著	ベースボール・マガジン社	783.6 ハ
800 言語			
デジタルで変わる子どもたち 学習・言語能力の現在と未来 (ちくま新書)	ハトラ一後藤裕子 // 著	筑摩書房	807 ハ
最新時事用語 月刊新聞ダイジェスト 2024年9月増刊号		新聞ダイジェスト社	814.7 サ '24
マンガでカンタン! ハンゲルは7日間わかります。	こんぶパン // 著 関谷由香里 // 漫画	Gakken	829.1 J
一度読んだら絶対に忘れない韓国語の教科書	ヒョン・カンヒ // 著	SBクリエイティブ	829.1 ビ
900 文学			
NHK短歌 シン・短歌入門	笹公人 // 著	NHK出版	911 サ
サンショウウオの四十九日	朝比奈秋 // 著	新潮社	913.6 ア
ツミデミック	一穂ミチ // 著	光文社	913.6 イ
パリ山行	松永K三蔵 // 著	講談社	913.6 マ
度十公園林 ざしきぼっこのはなし	宮沢賢治 // 作 はたこうしろう // 絵	岩崎書店	913.6 ミ
一線湖	砥上裕将 // 著	講談社	913.6 ト 2
恋できみが死なない理由	最果タヒ // 著	河出書房新社	914.6 サ

新着図書から 「スマホを捨てたい子どもたち 野生に学ぶ「未知の時代」の生き方 (ポプラ新書)」山極寿一//著

子供の頃から情報通信機器に触れている若い世代はスマホを持て余しつつあるのではないかとポプラ社(刊)著者はゴリラと共生し、言葉を用いなくても意思疎通を図るゴリラの姿から、本来仲間と生きる人間がどうあるべきかわかったそうです。そもそも人間は一人で時間を使うようにできていないので、スマホは友達に会えない時の代替手段にして「スマホ・ラマダン」をし、誰かと食卓を囲んだり、この機会にじっくり本を読んだりすることを勧めています。リアルな対面コミュニケーションの大切さがわかります。



第171回直木賞受賞作

「ツミデミック」

一穂ミチ // 著
光文社(刊)



コロナ禍を思わせる不安が広がる世界を舞台に、もがく人たちが犯罪に遭遇する6つの短編集。

第171回芥川賞受賞作(2作品)

「パリ山行」

松永K三蔵 // 著
講談社(刊)



主人公は六甲山を歩きながら、山歩きでストレス解消する会社員。「パリエーション(パリエーション)」を究める癖の強い先輩社員を慕うようになり、自身も会社員として将来の生活に不安を感じながらパリ山行にのめり込む。

「サンショウウオの49日」

朝比奈秋 // 著
新潮社(刊)



著者は消化器内科の医師。一つの体に顔や胴などすべてくっついた状態で生まれた結合双生児の姉妹が主人公。思考を共有する姉妹の感覚を通して、人間の意識や命とは何か問う作品。